

毎月第3金曜日は川西市の「人権デー」です！



「平和」について考えてみましょう。

今年度も「折り鶴平和大使」広島派遣事業は中止となりましたが、市民のみなさんの平和への願いのこもった折り鶴は、**広島**の平和公園へ送付します。



この像は、広島市の平和記念公園にある、「原爆の子の像」です。像の下には世界中から送られてきた、たくさん折り鶴がそなえられています。なぜ、このような像がつくられ、折り鶴が送られてくるようになったのでしょうか。

昔、日本は戦争をしていました。広島市、昭和二十年八月六日の朝、原子爆弾が投下されました。被爆した二才の女の子がいました。その子の名は佐々木貞子さん。戦争が終わり、貞子さんは、走るのが得意な子に成長しました。

ところが、6年生の冬休みのころから体調を崩し、白血病と診断され、入院しました。原爆症です。

入院中の貞子さんは、「折り鶴を千羽折ると願いがかなうと言われてる」と知り鶴を折り始めました。

あめの包み紙や葉の包み紙などで折りました。元気になれますように……と願いをこめました。とうとう、千羽をこえました。

しかし、貞子さんの病状は悪くなり、十二歳のある日、眠るようになり息を引き取りました。

貞子さんがこの世を去ってから三年後、「原爆の子の像」が完成しました。天に向かって高く鶴を掲げている少女は、貞子さんがモデルです。

貞子さんの話は世界中に伝わり、日本中だけでなく世界中から折り鶴が送られてくるようになりました。一つ一つ、折られた鶴には平和への願いがこめられています。

第29回かわにし人権・平和展

<日時> 7月1日(月)～8月17日(火)
<会場> 市役所、公民館、中央図書館、総合センター
<内容> パネル展・戦争と平和の本コーナー・折り鶴

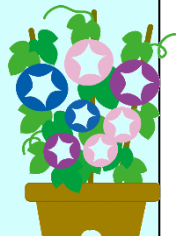
※会場により開催期間は異なります。

主催 川西市・人権推進課

特設人権相談 予約優先

7月16日(金) 無料
午後1時～4時

川西市役所3階 8番の
人権推進課で相談をお受けします。
◇問い合わせ
Tel.740-1150 人権推進課



ひかくへいわとしせんげん
非核平和都市宣言

世界中の人々が等しく平和な暮らしを営むことは、人類共通の願いです。

それにもかかわらず、地球上の全生命を滅ぼしてもなお余るほどの核兵器が蓄積され、世界の平和に深刻な脅威を与えています。

わが国は世界で最初の核被爆国として、核兵器と戦争の恐ろしさを全世界に訴え、その惨禍を絶対に繰り返させてはなりません。

私たちは祖先から受け継いできた猪名川の清流、豊かな緑、そして人類共通の財産である青く美しい地球を永遠に守り続けていくためにも、核兵器をつくらず・持たず・持ち込ませずの「非核三原則」を遵守するとともに、恐るべき核兵器の廃絶を願い、人と人との憎しみあい傷つけあうことのない世界の創造を求めて、ここに市民の総意のもと、川西市を「非核平和都市」とすることを宣言します。

平成元年(1989年)7月14日

川西市



平和モニュメント「誓」

非核平和都市宣言のまち

川西市